

令和4年度(2022年度)改定版

川口中学校区 地域づくり推進計画 (案)

地域の将来ビジョン

住みたくなる、住み続けられるまち川口
～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～



目次

1	はじめに	1
2	地域づくり推進計画について	2
3	地域概要	3
	(1) 概略	3
	(2) 特徴	3
	(3) 人口	4
	(4) 歴史・自然・文化	6
	(5) 地域活動	7
	(6) 地域資源マップ	8
4	地域の将来ビジョン	10
5	共通テーマと視点	12
6	アクションプラン	13
	(1) アクションプラン一覧	13
	(2) アクションプラン概要	14
6	地域づくり推進体制	18
7	資料編	19
	(1) 地域づくり推進会議参加者	19
	(2) 計画の策定経過	20
	(3) 川口中学校区(川口地区)の地域づくりに関するアンケート調査結果	21

1 はじめに

私たちの川口中学校区では、四季の変化を感じられる自然環境や地域のなかで受け継いできた伝統文化・行事を通して、人とひととの強いつながりを育んできました。一方で、近年の宅地化の進行に伴い、転居してきた新しい住民と昔からの住民との交流の希薄さや、地域活動の担い手不足などの地域課題が顕著になってきました。

そこで私たちは、令和3年(2021年)6月に地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)を立ち上げました。推進会議では、まず長期的な視点をもって地域のありたい姿として将来ビジョンを決定し、地域における様々な現状や課題を整理しました。その後、地域の将来ビジョンの実現に向けて検討を重ね、具体的な行動計画となる「川口中学校区地域づくり推進計画(以下「推進計画」という。)」を令和4年(2021年)3月に策定しました。

推進計画に基づき、これまで「地域のプラットフォームづくり」に取り組んできましたが、様々な地域課題の解決に向けた地域全体の取組を新たに検討し、この度、推進計画の改定版としてまとめました。

推進計画の策定及び改定にあたっては、推進会議での議論を中心とし、そのほかにも地域の活動団体や住民の皆さんなどに参加いただいた「地域づくりワークショップ」での意見交換や、「学生との意見交換会」を開催し、あらゆる世代が地域づくりに参加できるよう検討してきました。また、歴史的な背景なども踏まえ、近隣の檜原中学校区との連携の必要性についても議論してきました。

私たちの地域を「誰もが住みたくなる住み続けられるまち」にしていくために、地域と行政の協働による地域づくりを進めていくに当たり、何が必要かを皆で知恵を出し合って本計画にまとめました。ぜひ、1人でも多くの御参加、御協力をお願いします。

令和5年(2023年)3月 川口中学校区地域づくり推進会議

2 地域づくり推進計画について

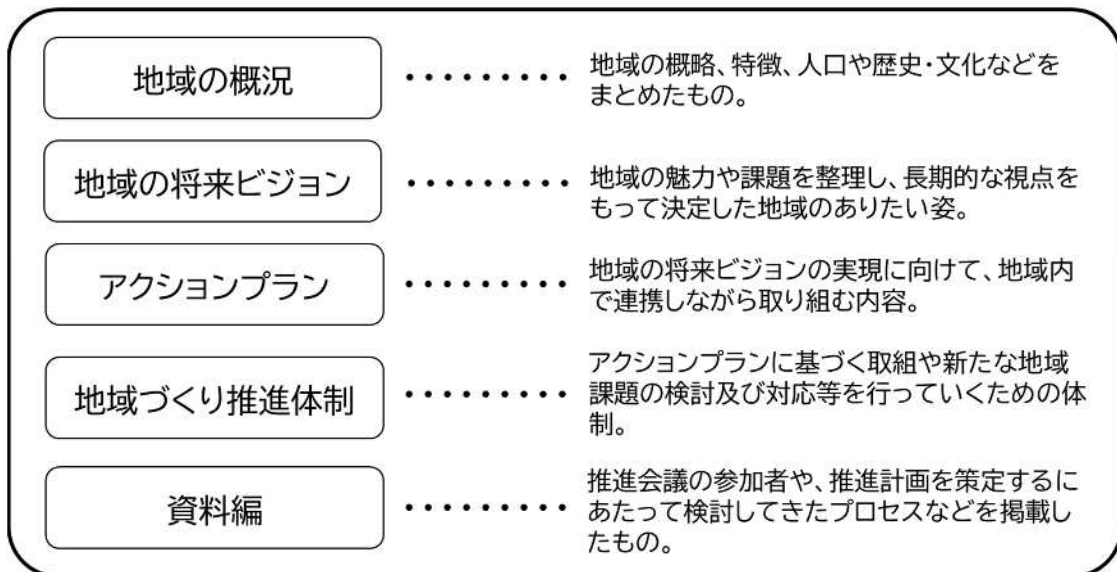
私たちは、「八王子市地域づくり推進基本方針」に基づき、推進会議において検討を重ねながら、この推進計画を策定しました。

推進計画の内容は、地域の概要、地域の将来ビジョン、アクションプラン、地域づくり推進体制などで構成し、計画期間を5年としています。なお、地域を取り巻く環境は大きく変化することも想定されるため、必要に応じて見直しを図っていきます。

地域の将来ビジョンの実現に向けて、町会・自治会をはじめとする地域団体や住民、行政が連携を図りながら、地域全体で計画を共有し、アクションプランに基づく取組を進めていきます。

【地域づくり推進計画の構成】

地域づくり推進計画



3 地域概要

川口中学校区の特徴、人口、歴史・自然・文化、地域活動などをまとめました。詳細は、「川口中学校区地域カルテ」に掲載しています。ぜひ御覧ください。

なお、檜原中学校区の一部施設も記載しています。

(1) 概略

川口中学校区は、上川町、川口町、美山町の全域と、犬目町の一部から構成され、八王子市西部に位置しています。中央部を川口川が流れ、それに平行するように秋川街道が通ります。また、秋川街道から南へ美山通り(都道61号線)があり、戸沢峠を越えた、北浅川と川口川に挟まれた台地に住宅が集中しています。



該当住所(地図赤枠内)

上川町全域、川口町全域、美山町全域、

犬目町738、739、1014～1019、1020-1～2、1021-1～2、1022～1030、1031-1、1031-3、1031-9～12、1031-20～37、1032-2、1033-1～2、1034～1080、1081-1～3、1082-1～2、1083～1717、1720～1743、1745～

(2) 特徴

自然環境

今熊山、天合峰、金剛の滝、上川の里などがあり、自然環境がとても豊かな地域です。川口川沿いでは四季折々の自然に囲まれながらウォーキングを楽しむことができます。

交通

主要公共交通機関はバスです。主要駅へ向かうバスは1時間に数本運行されています。

西東京バス(京王八王子駅、武蔵五日市駅、秋川駅、高尾駅行きなど)、はちバス

産業

丘陵地には農地が広がっており、近年新規就農者も見られます。山間部の砕石場では、硬質砂岩の砂利砂が生産されています。圏央道八王子西 IC に近接する土地区画整理事業では、大規模な産業用地が整備される予定で、地域経済の活性化が期待されます。



圏央道 川口トンネル

(3) 人口



出典: 令和2年国勢調査

令和2年(2020年)10月1日時点の人口は23,740人で、世帯数は9,182世帯でした。今後、さらに高齢化が進んでいくことが予想されるなか、伝統ある地域の行事や団体活動の持続可能性を考えていく必要があります。

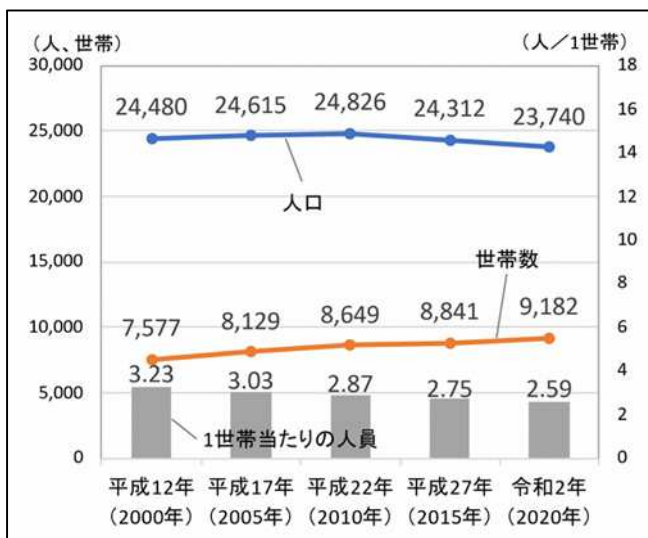
以下、川口中学校区の人口や世帯に関する経年の数値を八王子市全体のものと比較しました。

数値は、通学区域に含まれる町丁目全域の数字を含めています。

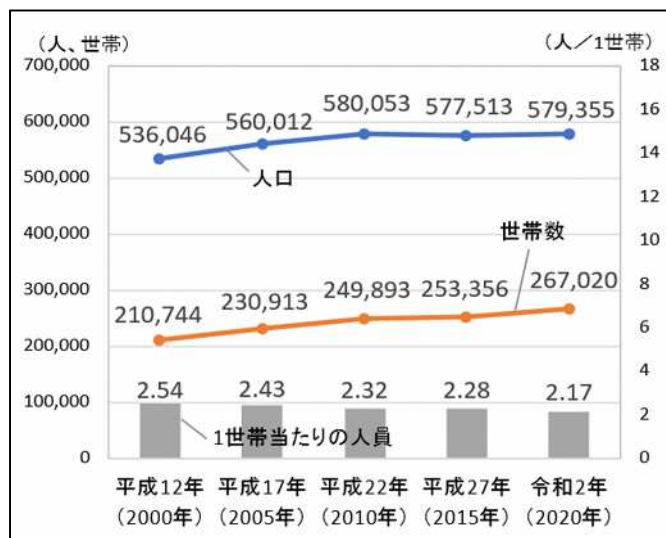
なお、該当住所はP3「3(1)概略」をご覧ください。

人口・世帯数・1世帯当たりの人員の推移

<川口中学校区>

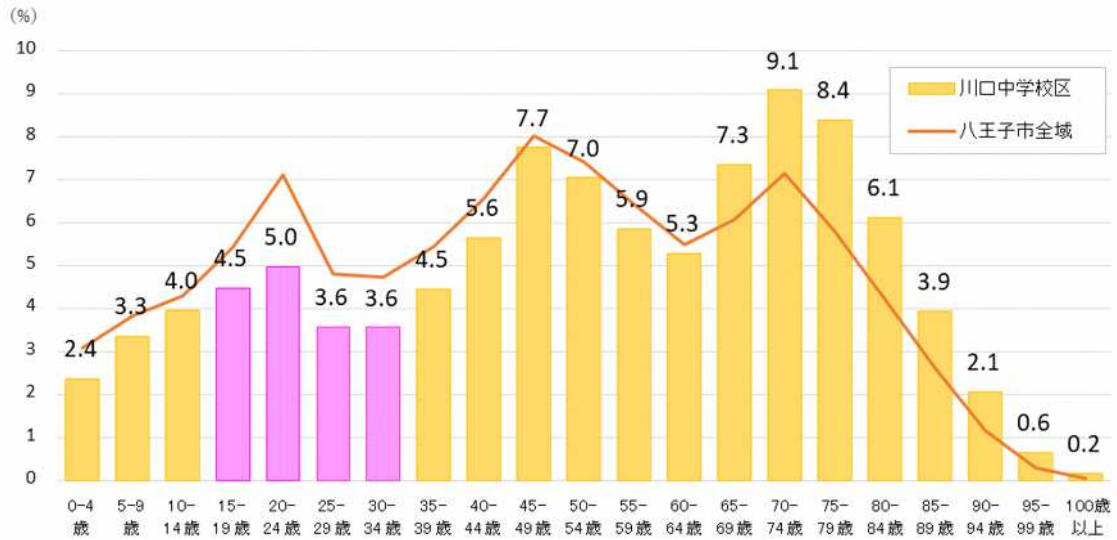


<八王子市>



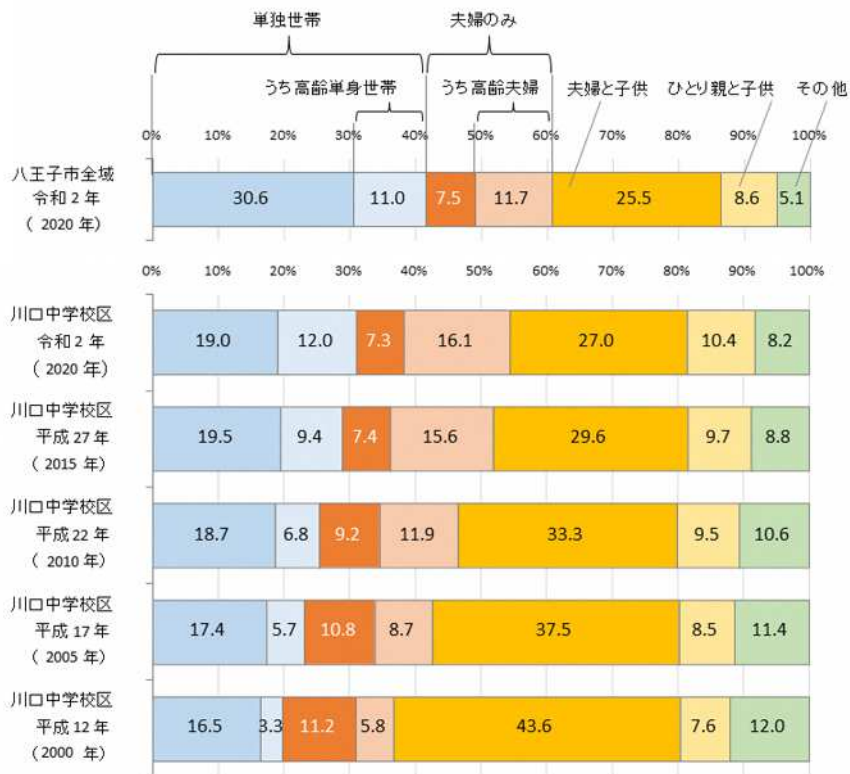
出典: 国勢調査をもとに作成

人口構成(5歳階級別人口構成)



出典：令和2年国勢調査をもとに作成
年齢不詳を含まない

世帯の家族類型(構成比)



出典：国勢調査をもとに作成

(4) 歴史・自然・文化

歴史・自然

川口中学校区は、旧川口村の一部であり、この校区内には縄文時代の宮田遺跡があり、昭和43年(1968年)に子抱き土偶が出土しています。幼子を抱いた土偶は珍しく、日本初の発見でした。また、圏央道八王子西インターチェンジ付近では、居住跡や多量の土器、石器が出土した赤根遺跡があり、近郊遺跡に見られない鍛冶工房の集落と考えられています。

「今熊山」「今熊山・金剛の滝」「安養寺」「川口やまゆり館」は、八王子市の顔に相応しい景観として、八王子八十八景に選ばれています。標高505.7メートルの今熊山は、ふもとに金剛の滝、頂上に今熊神社を頂く閑静な山です。春の山麓には、町会などにより植栽されたミツバツツジ約1,500株が咲き誇ります。そのほか、清流が楽しめる北浅川など自然豊かなスポットがあります。



今熊山のミツバツツジ

文化(祭り、イベント)

7月には七夕まつりや各町会による町民祭を開催するほか、8月には合同の防災訓練を実施し、非常時への対応にも備えています。11月には川口やまゆり館まつりを開催するなど、日頃から地域交流が盛んな地域です。



川口やまゆり館まつり

主な地区内の年間行事

4月: 各小・中学校入学式	10月: 地域運動会
5月: みんなの町の清掃デー	11月: 川口やまゆり館まつり
6月: グランドゴルフ大会	12月: 年末パトロール
7月: 七夕まつり、町民祭	1月: 新年会、どんど焼き
8月: 合同防災訓練	2月: つるし雛
9月: みんなの川の清掃デー	3月: 各小・中学校卒業式

(5) 地域活動

川口中学校区では、様々な地域団体や住民が活発に活動しています。本ページでは、主な団体等について紹介しています。

町会・自治会

各町会・自治会では、行事の開催や防災訓練の実施等、様々な活動をしています。川口中学校区では、自然豊かな地域の環境を次世代の子ども達に引き継いでいくため、町の美化活動にも力を入れています。



資源回収

青少年対策地区委員会(以下「青少対」という。)

青少対では、クリーン活動をはじめとした様々な活動を行っています。また、川口中学校区の活動として、地域の各小学校で月に1度「めだかの学校」を開催するなど、体験学習の機会も提供しています。

放課後子ども教室

川口小学校、松枝小学校で平日(月～金)、美山小学校で水曜日に開催されています。学校の施設を活用し、自由遊びの機会や自由学習環境を提供しています。



川口小学校放課後子ども教室

サークル活動

川口市民センターや生涯学習センター川口分館では、手芸や音楽、語学などの文化系、体操をはじめとする体育系(川口市民センターのみ)の様々なサークル団体が活動しています。



生涯学習センター川口分館の展示スペース

高齢者サロン(「ふれあいいきいきサロン」「自主サロン」)、シニアクラブ

高齢者サロンが7団体、シニアクラブが10団体あり、地域で自主的に運営されています。各サロンでは、月に数回程度の活動を地域内の自治会館や集会所で行っており、地域に開けた活動の場となっています。また、各シニアクラブでは、知識や経験を生かした地域貢献活動などに取り組んでいます。

(6) 地域資源マップ



災害時の避難場所 …P23

- | | |
|----------|------------|
| ① 上川口小学校 | ⑤ 川口市民センター |
| ② 美山小学校 | ⑥ 陶鎔小学校 |
| ③ 川口小学校 | ⑦ 八王子北高等学校 |
| ④ 川口中学校 | ⑧ 松枝小学校 |

- AEDについて | 地域資源マップには、八王子市において管理を行っているものを掲載しています。このほかにも病院や民間等で設置しているものもあります。右記AEDマップもご参照ください。

川口の住民おすすめスポット …P24-27

- | | |
|-----------------|------------|
| ① 日枝神社…P24, P27 | ⑤ 上川の里…P26 |
| ② 今熊神社…P24, P26 | ⑥ 白山神社…P26 |
| ③ 正福寺…P24 | ⑦ 天合峰…P26 |
| ④ 田守神社…P25 | ⑧ 高丸山…P26 |

日本救急医療財団 全国AEDマップ
設置者及び設置管理者から日本救急医療財団のHPに設置登録情報を公開することに同意を得たものを公開しています。



かわぐち

—地域資源マップ—



川口やまゆり館
 ・川口市民センター 5
 ・生涯学習センター川口分館
 ・川口図書館

- 9 ふるさと学習室…P26
(川口中学校)
- 10 琴平神社…P27
- 11 山入城跡…P27

- 12 大光寺…P27
- 13 鐘と金次郎…P27
(美山小学校)
- 14 ちょこっとベンチ

公衆電話の災害時利用について

災害救助法の適用が想定される規模の災害時に、公衆電話から発信する際の通話料等が無料となる場合があります。公衆電話の設置場所検索はこちら ▶



お出かけやお散歩の途中でひと休みできるベンチが設置されています。ぜひご利用ください。

詳細は、地域カルテの該当ページに記載しています。

4 地域の将来ビジョン

推進会議などでありたい姿について検討を行い、以下の地域の将来ビジョン(目標)を掲げました。

川口中学校区の将来ビジョン

住みたくなる、住み続けられるまち川口

～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～

将来ビジョンに込めた思い

「地域のあらゆる世代」、「地域の住みやすさ」、「自然の豊かさ」の3つのキーワードをもとに、地域に住む子どもから大人までの人々が、つながりや結びつきを大切にしていきたいという思いから将来ビジョンを決定しました。

魅力と課題

【魅力】

(ア) 地域環境に関すること

- ・ 上川町、川口町、美山町、犬目町は縄文遺跡や神社仏閣が多く、地域ごとに歴史や文化、伝説が残っている。
- ・ 上川町、川口町、美山町、犬目町には里山の原風景が残されている。
- ・ 美山町、上川町は多様な生態系が残っている。

(イ) 地域活動に関すること

- ・ 住民活動が盛んである。
- ・ NPO 法人やボランティア団体の活動が多い。

(ウ) 自然・四季に関すること

- ・ 動植物、山や川など豊かな自然に親しむことができる。
- ・ 四季の変化を感じることができる。

(エ) 良好な暮らしに関すること

- ・ 静かでのびのび暮らすことができる。
- ・ 地域住民の交流があり、地域の人に見守られながら生活できる。

【課題】

(ア) 公共交通手段の不足

- ・ 川口小学校以西はバスの本数が少なく、車などの移動手段がないと不便である。
- ・ 道幅が狭く、交通量が多いため渋滞する。

(イ) 交流機会・居場所の不足

- ・ 昔からこの地に住む住民と新しい住民同士がつながる機会が少ない。
- ・ 日常生活のなかで、多様な世代が集まる場所、子育て世代や新住民との交流の場がない。

(ウ) 地域活動の担い手の不足

- ・ 高齢者(60～80代)が地域活動の中心であり、地域づくりへの若い世代の参加が少ない。
- ・ 高齢者中心の活動団体が多く、若い世代の担い手が不足している。
- ・ 世代を超えたつながりが少ない。

(エ) 身近な活動拠点の整備

- ・ 地域団体などが活動するにあたり、身近に集まれる地域拠点が少ない。

(オ) 情報発信・共有の不足

- ・ 地域情報が一括で入手できるような機能、しくみがない。
- ・ 地域の活動団体同士がお互いの活動内容を知らない。

(カ) 防災・安全

- ・ 空き家が多い。
- ・ 身近に避難所が少ない。

(キ) 獣害対策

- ・ 山間部の農地では、野生動物による農作物への被害が発生している。

魅力と課題は、川口中学校区(川口地区)住民アンケートの結果や推進会議での主な検討内容を項目ごとに整理したものです。

地域づくりを進めるうえでは、今ある魅力を活かしながら課題を解決していく必要があります。また、地域だけでは解決できない課題は、行政と連携しながら取り組んでいきます。

5 共通テーマと視点

八王子市では、地域と行政がともに取り組む「共通テーマ」と、取組を検討するにあたって意識してほしい「検討の視点」を以下のとおり設定しています。

私たちは、設定されている「共通テーマ」と「検討の視点」を取り入れながら検討を重ねアクションプランとして決定しました。今後、地域の将来ビジョンの実現に向けて、各行政計画を踏まえながら行政と連携し、地域全体で取り組んでいきます。

【共通テーマ】

カーボンニュートラル

近年、地球温暖化による気候変動の影響と考えられる集中豪雨や台風の大型化などの異常気象が、世界各国で発生しています。

一人ひとりの意識の醸成や脱炭素型ライフスタイルへの転換などにより、脱炭素社会の実現を目指します。

地域防災

地球温暖化による気候変動の影響は、近年、気象災害の頻発など顕著に現れており、本市でも、台風や集中豪雨による浸水被害が発生するなど、市民生活に大きな影響をもたらしています。本市でも、令和元年東日本台風や集中豪雨などの被害が発生しており、将来起こる災害による被害の回避、軽減に向け、様々な関係者との協働による防災力の向上を図っていきます。

公共施設マネジメント

社会情勢の変化やニーズに対応した行政サービスを安定的に提供していくため、公共施設等の維持管理、修繕、更新等に長期的な視点で取り組んでいくことが必要です。

次世代に大きな負担を残さず、将来にわたり住みよいまちづくりを実現するために、市民と行政との協働により、公共施設マネジメントを推進していきます。

【検討の視点】

DX(デジタルトランスフォーメーション)

人口減少や地球温暖化などの様々な社会環境が変化するなか、環境・社会・経済の持続可能性を向上させていく必要があります。

デジタル技術やデータの活用により、人とひととのつながりを深め、誰一人取り残されることなく地域の中で支え合い、豊かな暮らしを実現していく地域共生社会を目指しています。

6 アクションプラン

地域の将来ビジョンの実現に向けて、私たちが令和4年度(2022年度)から取り組む「プラットフォームづくり」に加え、地域主体、また地域と行政が協働しながら課題解決に取り組んでいくためのアクションプランを定めました。

今後、取り組んでいく際には、八王子市が設定する「共通テーマ」と「検討の視点」を意識するとともに、活動する中で改善点を洗い出し、随時見直しを行いながら進めていきます。

(1) アクションプラン一覧

地域のプラットフォームづくり 課題(イ)、(ウ)、(エ)、(オ)

災害に強いまちづくり 課題(イ)、(ウ)、(カ)

未来につながる学校づくり 課題(イ)

【取組項目】

地域のプラットフォームづくり

- ・コミュニティカレンダー
- ・マルシェ



災害に強いまちづくり


- ・災害に関する情報の整理・共有
- ・防災に関する教室やイベントの開催


未来につながる学校づくり

- ・公共施設部会での意見交換

(2) アクションプラン概要

アクションプラン	地域のプラットフォームづくり				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域で活動する様々な人がつながる機会をつくる ▶ 地域の活動や推進会議に関する情報を住民に幅広く届け、理解や参加を促す ▶ 地域の担い手の掘り起こし、育成につなげる 				
効果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の活動の参加者、協力者が増え、活動が活性化する ▶ 人や物が集まる場ができ、地域が活性化する ▶ 定期的な発信・交流で顔の見えるつながりができる ▶ 若い世代が楽しみながら地域づくりに関わることができる 				
取組	コミュニティカレンダー		マルシェ		
共通テーマと視点	▶ DX		<ul style="list-style-type: none"> ▶ カーボンニュートラル ▶ 地域防災 		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 見やすく楽しいカレンダーをつくる ▶ 地域づくりボランティアの募集に活用する ▶ 情報の収集、編集、発信などにオンラインを活用し、DXを進める ▶ 子どもたちが編集者となって小中高生向けのカレンダーをつくる 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の様々な団体、住民がモノや情報を持ち寄るマルシェを定期的開催 ▶ 様々なイベント、情報発信(カーボンニュートラル、地域防災含む)の場として、住民同士の交流を促す ▶ 子どもや若い世代による企画運営部門を設け実行委員を募集する 		
ターゲット	▶ すべての住民		▶ すべての住民(特に、子育て世代、中学生、高校生、大学生)		
場所(会場)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共施設、飲食店、町会掲示板、学校などに掲出 ▶ 市HPや推進会議 SNS 活用 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 川口市民センター ▶ その他の場所(公園等) 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 担い手の確保 ▶ 効率的な情報収集・選別方法の検討 ▶ 世代を意識した発信方法の検討 ▶ 公共施設や学校での配布、掲出方法 ▶ 印刷及び消耗品の確保 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 担い手の確保 ▶ 実施場所の確保 ▶ 使用許可等の届出方法 ▶ 周知の方法 ▶ 資材、消耗品などの確保 		
スケジュール	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
コミュニティカレンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・編集・発行方針の検討 ・配布(試行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・編集、発行方針の見直し ・新たなカレンダーの発行 ・オンライン配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容、発行方法の見直し ・継続発行配信 		
マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・開催方法の検討 ・開催(試行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の立ち上げ ・資金調達 ・開催(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間実施計画の作成 ・常設に向けた情報収集 ・開催(4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設マルシェの検討、開催 ・他のマルシェとの連携 	

アクションプラン		災害に強いまちづくり				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害の発生に備え、必要な知識や情報を身につける ▶ 災害時に助け合うことができる住民同士のつながりをつくる ▶ 災害に強い人づくり、災害に地域で対応できる力を高める 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 住民の防災意識が高まり、地域の防災力が高まる ▶ 活動を通じて、若い世代など地域担い手の参画・掘り起こしにつながる 					
取組	災害に関する情報の整理・共有		防災に関する教室やイベントの開催			
共通テーマと視点	▶ 地域防災					
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ハザードマップ、避難場所の情報、災害時用備品の使い方などの情報、災害対策情報を収集し、定期的に発信する ▶ 中学生・高校生など若い世代とともにまちの点検活動を行い、ハザードマップを作成する 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町会・自治会、行政、学校、福祉施設などと連携し、多世代が参加する防災訓練・防災教室を実施する ▶ 防災食やサバイバル体験など、楽しみながら参加できる企画を実施し、地域に関わる担い手を育成する 			
ターゲット	▶ すべての住民		▶ すべての住民			
場所(会場)	中学校区全体		中学校区全体			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 消防署、消防団、防災課との連携方法 ▶ 災害情報(ハザード箇所、避難場所、備蓄など)の収集方法 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 消防署、消防団、防災課との連携方法 ▶ 地域内の防災知識を高める方法 ▶ 連携できる行政、町会・自治会などの防災教室、イベント等との調整方法 ▶ 消耗品、活動資材、資料等の確保 			
スケジュール	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	
災害に関する情報の整理・共有		・ハザード箇所、災害別避難場所の情報収集、整理	・地域情報(福祉施設、車椅子利用者、外国人など)の収集	・まち点検の実施 ・ハザードマップづくり	・ハザードマップの完成・配布	
防災に関する活動・イベントの実施		・町会合同の防災教室の試行 ・防災イベント情報の収集、整理	・福祉施設、車椅子利用者を含めた防災教室の開催	・防災教室、防災イベントの拡大		

アクションプラン	未来につながる学校づくり				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の核としての未来の学校のあり方について考える ▶ 学校に集う子どもたちと地域のこれからの関係性について議論する 				
効果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校のありたい姿に地域の思いを反映する ▶ 地域の実情に応じた施設利用を行うことができる 				
取組	公共施設部会での意見交換				
共通テーマと視点	▶ 公共施設マネジメント				
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域住民、活動団体、行政の各関係者で構成する「公共施設部会」を設置し、情報共有や意見交換を行う 部会メンバーは、推進会議参加者及びその他の学校関係者等で構成し、必要に応じてメンバー追加を行う 				
ターゲット	▶ すべての住民				
場所(会場)	▶ 川口中学校				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 部会メンバー以外の意見聴取の方法(アンケートの実施等) ▶ 意見交換結果のとりまとめ方法(学校施設の地域利用のルールを明文化) 				
スケジュール	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
公共施設部会 での意見交換			<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設部会の設置 ・市との情報共有 		

【全体スケジュール】

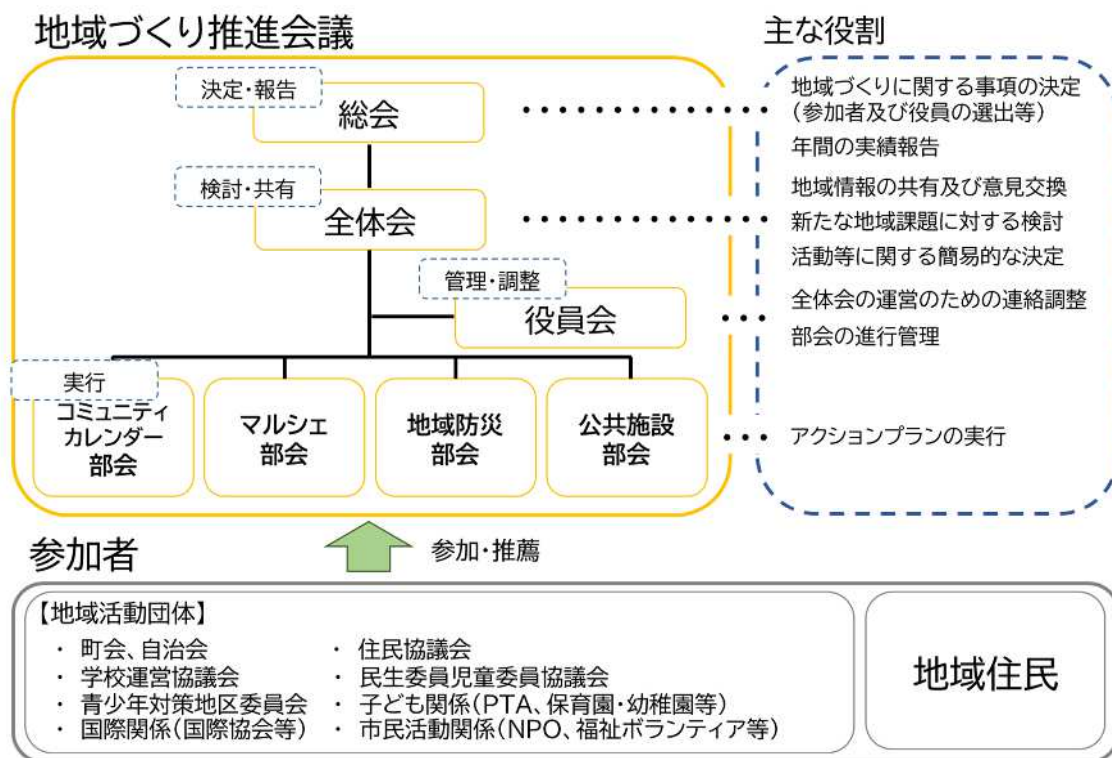
部会	取組	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
コミカレ 部会	コミュニティ カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・編集・発行方針の検討 ・配布(試行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・編集、発行方針の見直し ・新たなカレンダーの発行 ・オンライン配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容、発行方法の見直し ・継続発行配信 	→	
マルシェ 部会	マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・開催方法の検討 ・開催(試行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会立ち上げ ・資金調達 ・開催(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間実施計画の作成 ・常設に向けた情報収集 ・開催(4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設マルシェの検討、開催 ・他のマルシェとの連携 	→
地域防災 部会	災害に関する情報の整理・共有		<ul style="list-style-type: none"> ・ハザード箇所、災害別避難場所等の情報収集、整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報(福祉施設、車椅子利用者、外国人など)の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち点検の実施 ・ハザードマップづくり活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの制作・配布
	防災に関する活動・イベントの実施		<ul style="list-style-type: none"> ・町会合同の防災教室の試行 ・防災イベント情報の収集、整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設、車椅子利用者等を含めた防災教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教室、防災イベントの実施の拡大 	→
公共施設 部会	公共施設部会での意見交換			<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設部会の設置 ・市との情報共有 	→	

6 地域づくり推進体制

地域づくりを進めていくうえで重要な役割を担う推進会議は、多世代・多分野にわたる地域の活動団体や住民が参画し、自分たちでやりたいことを実現していく『地域のプラットフォーム』となることを目指していきます。

地域づくり推進体制は、以下のとおりです。アクションプランごとに設定する部会を中心に、地域の活動団体や住民が横のつながりを持ち、協力し合いながら取り組んでいきます。

【地域づくり推進体制】



7 資料編

(1) 地域づくり推進会議参加者

(五十音順)

氏名	推薦団体等
荒井 富雄	地域住民
荒木 紀行	町会自治会連合会
稲原 恵美	川口小学校PTA
大石 宗典	美山小学校PTA
久保 芳男	地域住民
白鳥 豊彦	地域住民
白鳥 信行	地域住民
高野 重春	住民協議会
田倉 聖一	学校運営協議会
外山 朋子	川口小学校PTA
内藤 佳代子	川口中学校PTA
内藤 妙美	地域住民
内藤 トシ枝	民生委員児童委員協議会
中尾 直子	松枝小学校PTA
中村 八重	地域住民
平井 和枝	地域住民
古田 哲夫	学校運営協議会
前川 千鶴	青少年対策地区委員会
安田 美樹子	上川口小学校PTA
山口 茂	地域住民

(2) 計画の策定経過

会議名称	開催日程	開催場所等
第1回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)5月14日(土)	川口中学校 東校舎1階 被服室
第2回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)6月26日(日)	川口中学校 東校舎1階 被服室
第3回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)7月24日(日)	川口中学校 東校舎1階 被服室
第4回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)9月10日(土)	川口中学校 東校舎1階 被服室
第5回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)10月15日(土)	川口中学校 東校舎1階 被服室
地域フォーラム	令和4年(2022年)11月26日(日)	川口市民センター 体育室
第6回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)12月17日(土)	川口中学校 東校舎1階 被服室
第7回 地域づくり推進会議	令和5年(2022年)2月18日(土)	川口中学校 東校舎1階 被服室

【活動風景】



(3) 川口中学校区(川口地区)の地域づくりに関するアンケート調査結果

調査名

川口中学校区(川口地区)の地域づくりに関するアンケート調査

調査目的

地域の意見を「地域カルテ」などに反映するとともに、「川口中学校区地域づくり推進会議」での検討状況や活動内容の周知

調査設計

- (1) 調査対象： 川口中学校区に在住、または関わりがある方
- (2) 配布枚数： 約 1,100 枚
- (3) 調査方法： アンケート用紙
川口中学校区地域づくり推進会議参加者が各所属団体等にアンケート用紙を配布し、回収

インターネット
二次元コード及び URL から本人が回答
- (4) 調査期間： 令和3年(2021年)11月24日～12月17日

調査項目

共通項目

- (1) 川口中学校区(川口地区)の魅力
- (2) 普段の生活のなかで入手したい情報
- (3) 地域の役立つ情報の入手方法
- (4) 川口中学校区(川口地区)への転入理由

子ども向け項目 項目によって、ご家族が子どもの視点で回答されている可能性があります。

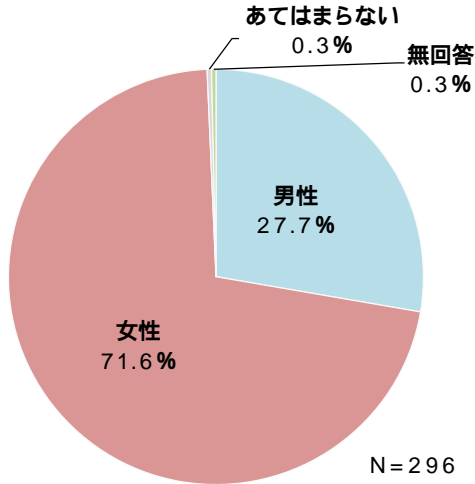
- (1) 川口地区の好きなところ
- (2) 川口地区にあったら良いもの
- (3) 川口地区にあったら良い活動

回数結果

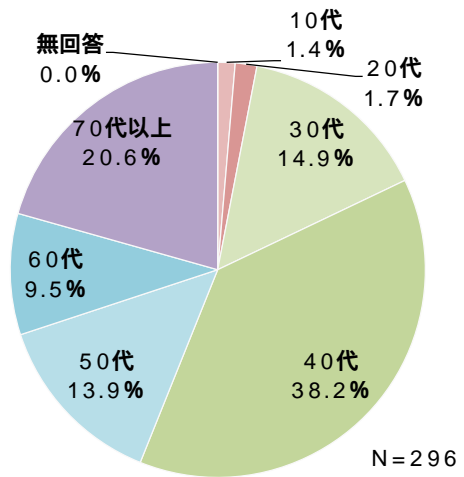
有効回収数： 合計296件(有効回収率 約26.9%)
回収方法内訳： アンケート用紙による調査：161件
インターネットによる調査：135件

回答者の属性

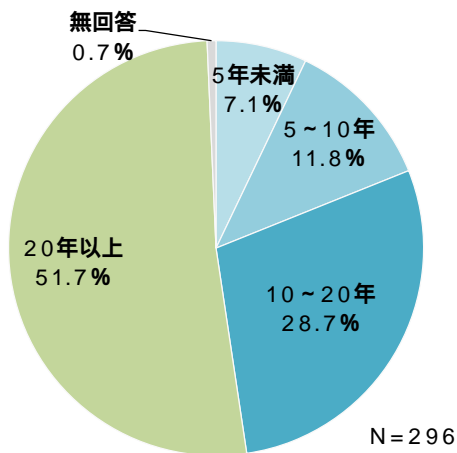
性別



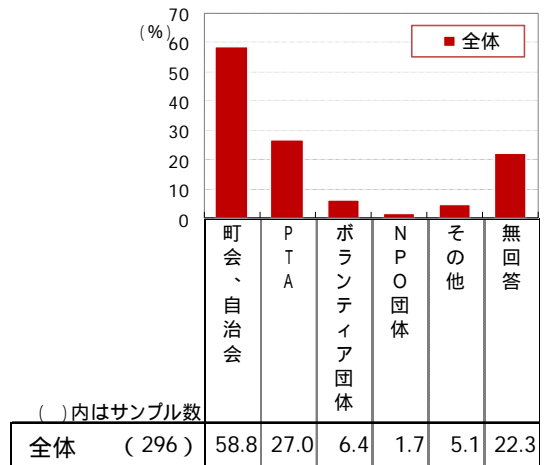
年齢



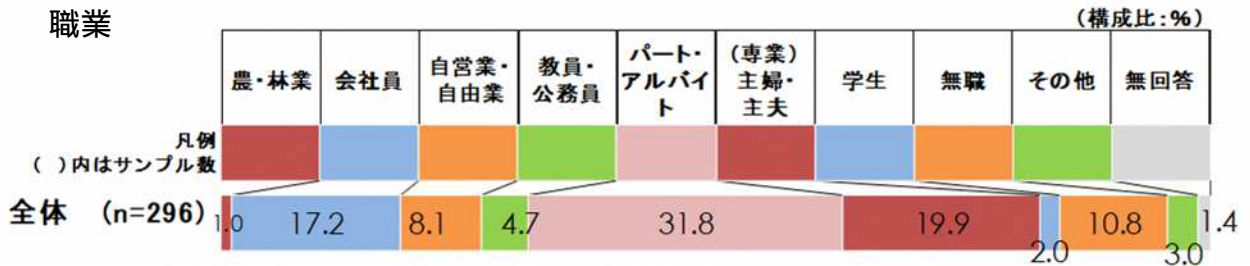
居住歴



所属団体(複数回答)



職業



回答いただいた子ども 複数の子どもの回答を積み上げ



※割合・構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

調査結果の概要

【共通項目】

(1) 川口中学校区(川口地区)の魅力

自然に恵まれたのどかで静かな環境や図書館、公園などの施設が整備され、人情味ある地域の人達のつながりと美味しいお店などが利用できるまち

魅力については、「自然が豊か」、「動植物に親しめる」、「美しい景観」などの【自然・環境】に関することが64.2%と最も高く、次いで「市街より静かで良い」「とても静かで生活しやすい」などの【暮らし】に関することが25.1%となっている。

その他として、「川口やまゆり館」や「川口図書館」などの【公共施設】に関すること、「商業施設・お店」、「古い歴史と里山」などが挙げられている。

(2) 普段の生活のなかで入手したい情報

「災害拠点及び避難場所」「地域の年間行事」の情報に対するニーズが高い

入手したい情報については、「災害拠点及び避難場所」が52.0%と最も高く、次いで「地域の年間行事」が38.5%となっている。また、「市民活動(サークル・サロン)の状況」と「公園の配置図」がともに30.4%となっている。

居住歴別にみると、「災害拠点及び避難場所」、「地域の年間行事」は居住歴5年未満及び5～10年の割合が高くなっており、特に「災害拠点及び避難場所」はともに6割を超えている。一方、居住歴10～20年及び20年以上は各地域情報に幅広い関心を示していると言える。

その他として、「防犯・防災・交通安全」、「お店情報」などが挙げられている。

(3) 地域の役立つ情報の入手方法

「地区の広報誌」、「地区情報をまとめたWebサイト」、「SNSでの配信」の順でニーズが高い

情報の入手方法については、「地区の広報誌」が59.5%と最も高く、次いで「地区情報をまとめたWebサイト」が40.2%、「SNSでの配信」が21.3%となっている。

年代別にみると、「地区の広報誌」は60代及び70代以上の割合が高くなっており、特に60代は89.3%となっている。また、「SNSでの配信」は10～30代までの割合が高くなっている。

その他として、「地域の掲示板」、「広報はちおうじ」、「地域団体の広報誌」などが挙げられている。

(4) 川口中学校区(川口地区)への転入理由

住まいを購入しやすい点に着目した転入や、仕事をきっかけとした転入が多い

転入理由については、「家の価格が安い」、「土地が比較的安価」などの【住まいの購入しやすさ】に関することが27.8%と最も高く、次いで「勤務地に近い」、「転勤」などの【仕事関係】に関することが22.2%、「自然が多く、子育てしやすい環境」、「自然があり、都心に出るのも便利」などの【自然・環境】に関することが16.7%となっている。

「その他」として、「大学時代に過ごした魅力ある町」などが挙げられている。

【子ども向け項目】

子ども向けの質問では、小学生未満が8.3%、小学生(1-3年生)が26.7%、小学生(4-6年生)が22.2%、中学生が27.4%と最も多く、高校生が8.6%、大学生以上が6.4%、その他が0.4%という構成であった。

(1) 川口地区の好きなところ

自然や緑、公園や広場、里山や川、動植物に親しめること、学年関係なく広い範囲の友達ができること

好きなところについては、「自然に触れる事ができる」、「自然が身近にある」などの【自然・環境】に関する事が61.9%と最も高く、次いで「学年関係なく遊べる」、「地域のみんなが仲よし」などの【みんな仲よし】に関する事が8.3%、「とても静か」、「のどかな場所」などの【静かでのどか】に関する事が5.5%となっている。

その他として、「道がわかりやすい」、「バス通学」、「不審者が少ない」などが挙げられている。

(2) 川口地区にあったら良いもの

公園、遊べる場所、学習スペースなどの小中学生などが安心して遊べる場所や、野球、水泳などの様々なスポーツを楽しめる施設が欲しい。公共交通機関がもっと便利になると嬉しい。

良いものについては、「公園・遊べる場所」「学習スペース、友達と集まれる場所」などの【公共施設】に関する事が50.0%と最も高く、次いで「公園の遊具」、「ベンチ」、「トイレ」などの【設備】に関する事が25.4%となっている。また、「本屋」、「レストラン」、「ショッピングモール」などの【商業施設・お店】に関する事が20.3%となっている。

その他として、「地域食堂」、「イルミネーション」などが挙げられている。

(3) 川口地区にあったら良い活動

みんなで楽しむ活動や町を良くする活動へのニーズが高い

あったら良い活動については、「みんなで参加する遊びやイベント」「お祭り」「運動会、スポーツ」などの【みんなで楽しむ活動】に関する事が82.5%と最も高く、次いで「ゴミ拾い」、「子ども食堂」、「勉強を教えるボランティア」などの【町を良くする活動】に関する事が9.5%となっている。

「その他」として、「地域主催のイベント」、「地域の人との交流」などが挙げられている。

回答票

川口中学校区(川口地区)の地域づくりに関するアンケート調査 回答票

1 あなた(回答者)について教えてください

(1)年齢 (○は一つだけ)	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
(2)性別 (○は一つだけ)	1. 男性 2. 女性 3. あてはまらない
(3)川口地区の居住歴 (○は一つだけ)	1. 5年未満 2. 5～10年 3. 10～20年 4. 20年以上
(4)職業 (○は一つだけ)	1. 農・林業 2. 会社員 3. 自営業・自由業 4. 教員・公務員 5. パート・アルバイト 6. (専業)主婦・主夫 7. 学生 8. 無職 9. その他()
(5)所属団体 (あてはまるものすべてに○)	1. 町会、自治会 2. PTA 3. ボランティア団体 4. NPO団体 5. その他()

2 川口中学校区(川口地区)の地域カルテについて

問1 あなたが思う川口中学校区(川口地区)の魅力を教えてください。

(自由記述)

【記載例】 美味しいスイーツのお店がある / 写真映えするスポットがある

問2 普段の生活のなかでどのような情報があったら良いと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1.地域の歴史・文化	2.四季	3.地域の年間行事
4.地域団体の活動状況	5.市民活動(サークル・サロン)の状況	
6. 施設拠点の分布	7. 公園の配置図	8. 災害拠点及び避難場所
9. 人口データ	10. 地域の相談窓口	11.その他()

問3 地域の役立つ情報はどのような方法で入手したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1.地区の広報誌	2.メール配信	3.地区情報をまとめたWebサイト
4.SNSでの配信	5.その他(具体的に:)	

問4 <川口地区の居住歴を「5年未満」とお答えいただいた方のみ>
 川口中学校区(川口地区)に転入をされた理由を教えてください。(自由記述)
 【記載例】 自然に触れあえるから / 生まれ育ったまちだから

共通の質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同居する23歳以下のお子様がいっしゃる方は、以下の質問に引き続きご協力をお願いします。

3 お子様向けの質問について(必要に応じてご家族のご協力をお願いします。)

問1 ご回答いただけるお子様にあてはまる項目を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1.小学生未満	2.小学生(1～3年生)	3.小学生(4～6年生)	
4.中学生	5.高校生	6.大学生以上	7.その他()

問2 川口地区の好きなところを教えてください。(自由記述)

【記載例】 項目:1.小学生未満 ※ 数字のみでご回答していただいても構いません。
 内容:公園がいっぱいある/地域のみんなが仲よし

<1人目>	<2人目>	<3人目>
項目:	項目:	項目:
内容:	内容:	内容:

問3 川口地区にどのようなものがあったら良いと思いますか。(自由記述)

【記載例】 内容:自主学習(勉強)できる場所がほしい/公園に大きなすべり台がほしい

<1人目>	<2人目>	<3人目>
内容:	内容:	内容:

問4 川口地区にどのような活動があったら良いと思いますか。(自由記述)

【記載例】 内容:みんなで運動会をしたい/みんなでお花見をしたい/サッカーチーム

<1人目>	<2人目>	<3人目>
内容:	内容:	内容:

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

**川口中学校区地域づくり推進計画
(令和4年度(2022年度)改定版)**

令和5年(2023年)3月

発行 川口中学校区地域づくり推進会議

編集 八王子市 未来デザイン室

所在地 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話 042-620-7307 FAX 042-627-5939